

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交通政策課 (内線: 7099)

3目 交通対策費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際航空便就航促進事業	11,570	7,500	4,070				11,570	
トータルコスト	17,960千円 (前年度9,920千円) [正職員: 0.8人]							
主な業務内容	補助金の交付、航空会社等へのエアポートセールス等							
工程表の政策目標(指標)	チャーター便の促進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県空港が北東アジアのゲートウェイとして重要な役割を果たし、諸外国との交流を通じて本県の発展を一層図っていくため、国際チャーター便の支援制度を拡充するとともに、海外航空会社等に対して国際チャーター便就航や新規路線誘致を強力に働きかける。

2 主な事業内容

(1) 国際チャーター便の促進支援 9,500千円(7,500千円)

事業名	インバウンドチャーター支援 (「ようこそ鳥取」国際チャーター便促進支援事業)	アウトバウンドチャーター支援 (「鳥取県発」国際チャーター便促進支援事業)
支援対象	航空会社	旅行会社
支援条件	○中国、台湾、ロシア沿海地方等東アジアからの 県内空港へのインバウンドチャーター ○県内宿泊施設で1泊以上宿泊	県内空港発着のアウトバウンドチャーター便を利用したツアー
支援内容	着陸料等: 3/4支援	ツアー客1名につき 5,000円
限度額	着陸1回当たり 20万円 (1往復: 40万円)	チャーター1機当たり 100万円(限度額拡大)
連続チャーターへの追加支援	(支援条件) ・1か月3往復以上運航 (支援内容) ・空港ビル使用料10/10支援 (限度額) ・1往復: 13万円 1か月100万円	チャーター1機当たり ・座席数200席未満 50万円 ・座席数200席以上 100万円
支援方法	観光誘客促進団体等を通じて支援	空港利用促進懇話会を通じて支援
予算額	6,000千円	3,500千円(全体事業費7,000千円)

(2) エアポートセールスの推進 2,070千円

海外航空会社を中心に本社及び国内支店を定期的に訪問し、国際チャーター便就航や新規路線誘致を強力に働きかける。その際に海外で円滑にエアポートセールスを実施するため、現地での活動や航空会社等との連絡調整などについてサポートを委託する。

3 これまでの取組状況、改善点

国際チャーター便への支援制度を活用しつつ、県内外等の航空会社・旅行会社へのエアポートセールスを継続的に実施した結果、東アジア、遠隔地等へのアウトバウンドチャーター便が就航するなど新しい需要の掘り起こし、県内旅行会社の事業意欲の増大につながった。今後、更に国際チャーター便の就航促進を図るためには、アウトバウンドチャーター便に加えて、インバウンドチャーター便の誘致を強力に取り組んでいく必要がある。